

山辺健太郎 在野の歴史家。共産主義活動に専心後、社会主义運動・朝鮮侵略史を研究、徹底した実証主義で基礎を築いた。
やまけんたろう
日露戦争終・1905 = 東京市本郷区(東京都文京区)で生まれる。

のち大分県別府市に移住し、

明治天皇没・1912 = 7歳：別府北尋常小学校に入学、

第一次大戦始1914 = 9歳：

ロシア革命・1917 = 12歳：卒業。

* 明治条約・1919 = 14歳：丸善大阪支店の見習店員、
大暴落・・・1920 = 15歳：大阪の足袋工場の労働者になり、社会主义を知って、
原敬首相暗殺1921 = 16歳：大阪の第一回メーデーに参加、

関東大震災・1923 = 18歳：小岩井淨主宰の自由法律相談所事務員、
総同盟大阪連合会での活動を経て、日本労働組合評議会に参加、
治安維持法・1925 = 20歳：大阪一般労働組合結成とともに、常任委員・教育部長になり、
内本時代始・1926 = 21歳：浜松の日本楽器争議に参加、{争議日報}の発行を担当。この頃、日本の共産主義グループに参加。
金融恐慌・1927 = 22歳：全日本無産青年団体連盟創立大会に参加、
共産党事件・1928 = 23歳：別府に行って、<三・一五事件>の一斉検挙は免れるも、大阪で共産青年同盟再建に携わって、
世界恐慌・1929 = 24歳：<四・一六事件>で治安維持法違反で検挙され、

満州事変・・・1931 = 26歳：控訴審で懲役3年の判決、高松刑務所に下獄、

五一五事件・1932 = 27歳：

国際連盟脱退1933 = 28歳：出獄後も、

帝人獄事件1934 = 29歳：大阪労働無産協議会結成に参加するなど、大阪地方で労働運動・無産運動をつづける間、
芥川直木賞始1935 = 30歳：思想家でもある数学者小倉金之助に師事して、科学的思考を身につけて行く。

日中戦争始・1937 = 32歳：

日米開戦・・・1941 = 36歳：<日米開戦>直後の一斉検挙で逮捕され、屈服しなかったため、中野の予防拘禁所に送られ、

ここで一緒になった金天海と親交を深め、朝鮮問題にも目覚める。

敗戦・・・1945 = 40歳：府中の予防拘禁所に移されてまもなく<敗戦>、出獄し、共産党再建に参加、

新憲法施行・1947 = 42歳：*日本共産党創立25周年記念事業の党史委員会のメンバーとして、社会主义運動史の史料蒐集と研究に従事、
この分野の第一人者になって行く。

極東裁判判決・1948 = 43歳：第六回大会で、統制委員となり、{前衛}編集兼発行人を勤めるなど、実務でも活躍。

三大事件・・・1949 = 44歳：大月書店「マルクス・エンゲルス選集」の刊行委員。歴史学研究会大会に初参加、以後、発言して行く。

朝鮮戦争始・1950 = 45歳：「コミニテルンの歴史」、

独立回復・・・1951 = 46歳：トレーズ「統・人民の子」翻訳、

メーテー事件・1952 = 47歳：*{歴史学研究}に旗田義「朝鮮史」の書評を書いたのを契機に、日本帝国主義と朝鮮の関係史についての研究論文を次々と発表するようになり、この分野の先駆者にもなって行く。

TV放送始・・・1953 = 48歳：この年に刊行開始の大月書店「レーニン全集」の刊行委員、{歴史学研究}別冊に「日本帝国主義の朝鮮侵略と朝鮮人民の反抗闘争」、

自衛隊発足・1954 = 49歳：フォスター「アメリカ政治史概説」翻訳、

55年体制始・1955 = 50歳：{思想}に「三・一運動とその現代的意義」、{歴史学研究}に「三・一運動について」、

イヌクイ・ヤム・1958 = 53歳：*共産党本部勤務をやめ、以後、著述、研究活動に専念する。

美智子妃・・・1959 = 54歳：この年に刊行開始の大月書店「マルクス・エンゲルス全集」全49巻の刊行委員となり、没するまで続ける。朝鮮史研究会創立大会に参加

安保闘争・・・1960 = 55歳：安保闘争デモ警官の殴り込みで負傷し、"六・一五訴訟"の原告となる。

東京オリンピック 1964 = 59歳：みすず書房{現代史資料}の「社会主义運動1」から、

いざなぎ景気1966 = 61歳：「日本の韓国併合」、歴史科学協議会{歴史評論}で座談会「朝鮮侵略史の真実」。岩波新書「日韓併合小史」、

電ヶ谷ヒル・1968 = 63歳：「社会主义運動7」まで、克明な解題をつけて刊行。

全共闘・・・1969 = 64歳：大月書店「レーニン全集」全48巻完結。

ド・ショック・・・1971 = 66歳：岩波新書「日本統治下の朝鮮」に結実した。

これらの研究は、国立国会図書館蔵政資料室・東洋文庫・東大図書館等の根本史料を博搜し、徹底した実証主義に基づくもので、その後のこの分野での基礎を築いた。

石油ショック1973 = 68歳：

田中角栄逮捕1976 = 71歳：回想録岩波新書「社会主义運動半生記」。*糖尿病と肺結核で久我山病院に入院し、
JALハイヤック・1977 = 72歳：回盲部がんの手術後、没した。

中塚明「歴史家山辺健太郎と現代」、